

チンゲン菜の収穫



チンゲン菜を収穫する職員



チンゲン菜の袋詰めをする職員



地産地消コンクールで使用されたチンゲン菜

4月15日、チンゲン菜を収穫しました。このチンゲン菜は、3月の研修で新採用職員が定植したもので、わずか2ヶ月で収穫できるまでに育ちました。3月にチンゲン菜の苗を定植した後10日間は毎日水を撒き、それ以降は適宜水を撒き、必要に応じて農薬を使い管理したことで、新鮮な野菜を収穫することができました。

収穫後は、JAファームの施設に行き、専用の機械を用いてチンゲン菜の袋詰めも体験しました。この袋詰めされたチンゲン菜は、段ボールに詰めて出荷されました。また、収穫したチンゲン菜は、同日開催された「第2回 おうちで食べよう！地産地消コンクール」でも使用され、美味しく調理されました。

